

令和2年 年頭の辞

九州運輸局鉄道部長 中菌 裕藏



令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鉄道は、地域住民の通勤・通学等の日常生活を支える交通手段であるとともに、地域コミュニティの強化や観光への取組みによる地域振興・活性化の観点からも重要な役割を担っています。また、大量輸送機関として、地球環境が社会問題化する中においては環境負荷の軽減、インバウンド増による交流人口の増加対策として、その役割はますます重要性を増しています。

鉄道の最大の使命は輸送の安全確保であります。公共交通全体で飲酒に関する規制の強化が強く求められているなか、鉄道軌道においても運転士に対する飲酒基準を改正しております。各鉄軌道事業者においては、より一層の安全対策を講じ事故防止の推進をお願いします。

また、大型台風などの影響による「計画運休」をする際の、利用者への情報提供のあり方についてとりまとめを行いました。各鉄軌道事業者においては、鉄道利用者や外国人旅行者への多言語化での情報提供などとりまとめを踏まえた対応をお願いします。

九州運輸局としましても、鉄道・軌道の輸送の安全確保や利用者の利用環境改善に取り組んで参ります。

九州新幹線鹿児島ルートは全線開業から9年目を迎え、観光客や通勤通学の移動手段として、順調に推移しております。西九州ルートにおきましては、武雄温泉駅～長崎駅間が令和4年度の開業を見込んでおり、博多駅～武雄温泉駅間を走行する在来線特急と武雄温泉駅で乗り換え「リレー方式」を行う予定になっております。

福岡市交通局七隈線（天神駅～博多駅間）の延伸につきましては、平成28年11月博多駅前の道路陥没事故を受け、工事が中断しておりましたが、昨年11月には陥没区間の再掘削を完了し、令和4年の開業に向けて工事を実施しているところです。事業者に対しましては安全対策に万全を期すよう、指導しており、引き続き、工事の進捗を注視してまいります。

地方の鉄道においては、人口減少や少子高齢化の進展などにより、利用者が減少傾向にあるなど厳しい経営環境に置かれています。このため、九州運輸局としては老朽化した鉄道施設の更新や地域のニーズに応じ、バリアフリーを始めとした利便性向上を図る取組などに支援を行っております。

九州運輸局といたしましては、安全・安心で快適な輸送サービスの実現

に向け、関係各位のご理解・ご協力を得ながら様々な課題に取り組んで参る所存です。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。